

第 33 号

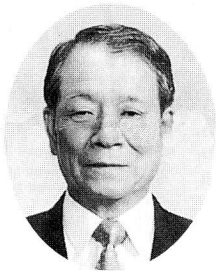
バドミントン しずおか

発行 平成 22 年 5 月 発行所 静岡県バドミントン協会 編集者 広報委員会 印刷 富士ニュース社印刷事業部

あいさつ

— 惜別 —

静岡県バドミントン協会
会長 上野 忠



本協会顧問 鈴木清見さまが去る 3 月 1 日闘病中のところ御逝去されました。



故 鈴木清見氏 故 本多常民氏

鈴木清見さまは本県高校バドミントン競技の最初の顧問教師として富士高校の創部に尽力され、名門富士高校バドミントン部の礎を築かれました。「文武両道」を座右の銘として

県内高校教育界の発展に寄与され弱冠 38 才にして高校々長に就任され県下有名校の校長を歴任し、退職後は富士市長として地方自治の首長として活躍されました。

平成 3 年本県開催の高校総体には富士市長として富士市にバドミントン競技の開催を誘致していただき、皇太子殿下のお成りをいただくなど富士市とともに本協会の名を全国にとどろかせていただきました。長年にわたり本協会顧問として御指導、御協力を

賜り本当にありがとうございました。又同志本多常民副会長が 2 月 10 日 4 年間に及ぶ闘病生活でしたが、ご親族のけんめいな看病にもかかわらず御逝去されました。本多副会長とは竹馬の友として、たがいに切磋琢磨しバドミントン競技の発展と選手の育成に生涯を捧げて下さったと言っても過言ではありません。

ともに歩んだ 70 有余年の人生の思い出は萬余に尽きません、まことに残念でなりません。

鈴木清見顧問、そして本多副会長の県バドミントン界に尽くされたご功績を讃えるとともに感謝の念で一ぱいです。お二人の意志を継承し県協会の発展に全力を尽くす覚悟であります。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

扱て、本年度県協会の総会も議案すべてが承認されスタートしました。協会財政も大変厳しく会員諸氏の御協力を切にお願いするところ です。

本年度は全国規模の主催大会はありませんが 2 年後の開催が決定しております全国小学生大会、3 年後に予定される全国中学生大会開催に向かって、ジュニア選手の強化に全力を傾注して行きたいと思ひます。会員各位の御協力をお願いする次第であります。

尚、御不便をお掛けしておりました事務局及び事務局長は山本秀和氏が就任いたしました。よろしくお願い致します。

本多常民副会長を 偲ぶ

静岡県バドミントン協会
副会長 内田 壽夫



去る 2 月 10 日、本協会副会長本多常民先生が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

本多先生は、昭和 25 年 4 月県立富士高等学校に入学し、創設されたばかりのバドミントン部に上野忠会長と共に入部、将に静岡県バドミントン界のスタートを切ったわけです。

その初代顧問が県協会顧問であり前富士市長の鈴木清見先生でありまして、鈴木先生も去る 3 月 1 日にお亡くなりになりました。併せてご冥福をお祈り申し上げます。

本多先生は高校・大学在学中バドミントンを続けられ、富士見高校に赴任、名監督齋藤威先生の下で幾多の好選手を育て、富士見高校バドミントン部の黄金時代を築かれたのです。

県協会の常任理事、副会長、富士市の協会長、高体連の部長(委員長)などを歴任、審判として県外へ出かけ、若い役員・選手にきめ細かい指導をされました。

私も 30 数年前の富士高校のバドミントン部顧問時代以来、練習会や大会等でいろいろとご指導をいただきました。改めてお礼申し上げます。又、全日本教職員大会でご一緒したときは、県外の友人との交流も含め、心からバドミントンを愛し且つ楽しんでおられる様子が伺えました。

先生は定年退職後も、大勢を誘って教職員大会に参加され、その普及活動に対して、日本教職員連盟より功労賞を、又日本バドミントン協会より顕讃賞を授与されていることは皆様ご存知の通りであります。

手先の器用な先生は、ミニチュアのシャトルコックを作って、富士市バドミントン教室の皆勤賞として贈っていました。最近では能面作りにも力を入れておられたと伺っています。

今後は趣味を楽しみながら、バドミントン界の発展を見守っていただきたいと思ひます。

安らかに眠りください。

合掌